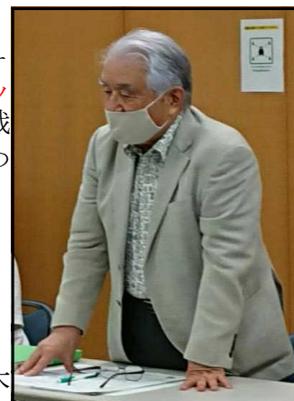


□日時：2020年（令和2年）6月28日（日）13時15分～16時50分  
□場所：県民交流館「パレア」（熊本市中央区水道町）9階・会議室3

## 第10回「ピースくまもと」設立準備事務局会概要

7 / 14版

- 1 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作  
コロナ災禍の感染拡大にともない3月の事務局会開催ができず、4ヶ月振りとなります。特に今年は戦後75年節目の年で、東京オリンピック延期に伴い、県民の方々に戦争と平和を考える機会としてほしい。戦争体験世代が国民の2割を切る状態となり、猶予がならない状態でもあります。今年度内に何らかの形にしていきたいと思っています。



小山和作代表の挨拶

### 2 参加者自己紹介（※順不同敬称略）

- 出席：小山和作、安藤富士記、上村真理子、三隅康資、多田喜一郎、宮川和夫、堀浩太郎、吉田正昭、上田欣也、高野誠二、諸隈征硯、山代成彦、高谷和生  
□熊本ブーゲンビル島会：船崎三義・乃美勝彦、全国ソロモン会：黒木伸男・中宮俊幸、中熊慎一、児玉 望  
□欠席：久米野安俊、有馬信一、永田 昭、戸崎孝行、青木 栄、末永 崇、二見正輝、勝又俊一、山野幸司、伊藤利明、矢加部和幸、赤瀬 恵  
□高島幸一熊本県社会福祉課長補佐様がオブザーバーとして参加いただきました。「前回出席の下村課長異動にともない、本日は初めての参加です。夏の戦没者慰霊祭もコロナ対策として規模を縮小しながらですが、県としての慰霊を続けていきます」  
※事務局説明 コロナ対策でのマスク着用や会場定員措置、報道機関二社の紹介、熊本ブーゲンビル島会他の本日参加の事情  
※参考資料 三隅さん熊日俳句・読者ひろば投稿二本、高谷熊日読者ひろばの「忘れてならぬ沖縄慰霊の日」の紹介。7/1（火）13:30～パレア会議室「熊本空襲を語り継ぐ集い」と証言集出版。7/4（土）9:00～「ブーゲンビル島遺骨収集活動パネル展」の開催。7/14～8月末までのくまもと戦跡ネット・熊本市教育委員会「2020 夏の平和展 上村さん講演会」の中止。『軍都熊本の残像』リーフ配布



県福祉課高島課補佐長の挨拶

### 3 協議・意見交換 ※今回は（1～4）項までとし、（2）（5）は次回以降とします。

#### （1）「熊本に戦争と平和のミュージアム設立に向けて」

- 小山代表作成の平和記念館建設「趣意書」案 令和元年11月吉日版 ※資料1  
ブーゲンビル島での遺骨収集に初めて参加した体験を基にしてとりまとめた。一つの主張にとらわれず幅広く、県民運動として各界からの支援を受けて広げていきたい。  
□「熊本に戦争と平和のミュージアム建設を呼びかける会アピール（案）」3/4版資料2  
前回の部会協議として8名参加で協議した。立ち上げてからの2年間の積み上げの経緯を大切にしていきたい。事務局会作成の概要報告にあるように、趣意書・アピールの整合性、コンセプトが重要であるので、部会協議内容を基にして、全体協議で確認したい。事務局会設立の「三本の柱」を大切にしていきたい。

#### （2）「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」について ※資料7

- 事務局員からの意見聴取では、コロナ災禍のなかではあるが、事業推進で了解頂いた。  
○諸隈さんから、荒尾二造の見所を紹介。屋外に穿った変電所跡、岱志高校の検査掛棟建物、多数点在する大小火薬庫、会設立の平和資料館など貴重な戦跡が点在している。  
○宮川さんから補足説明。75年節目の年の事業として重要な事業ではないか。県政としてもウィズコロナとして、観光の推進を進めている。また、観光庁「ゴーツートラベル」としても8月以降での「補助金交付」も予定されている。  
○熊日社告でのイベント告知もあり、多少参加費は高いが、事前学習会の設定、見学コース等新規性もあり、参加者募集の心配はないのではないかと。  
○戦争遺跡への認識を深め、ピースくまもと設立準備事務局会の活動を知っていただく絶好の機会ではなからうか。  
○両主催・共催では、本会として「金銭負担・欠損金負担」がなければ、共催で実施。

#### （3）ピースくまもと設立に向けての協議 ※本日は全体確認のみ、本格協議は次回以降

- 「熊本に戦争と平和のミュージアム」設立に向けてのイメージ図 ※資料3

- 前回協議内容の確認。他の協議内容はHP内に各種資料も掲載しているので、不明な方は概要を確認ください。
- 本会でとらえる「平和」はどのような内容か。
- これまでの協議では、各参加者の歴史観もあり概念として明確には決めていない。会名称標記については話したことはあった。平和を意識化するために展示内容にどの様に描くのか等について協議を深めた。
- 軍国主義教育の恐ろしさを痛感している。平和な時にこそ、戦争の悲惨さをしっかりと知り、持続させる必要があるのではないか。
- 本会取り組みの大きな枠組みは、5/13発会式での三本柱を基本と変動はしていない。
- 戦没者慰霊碑と同様に、今回のコロナ災禍を将来に伝えることが必要だ。
- 軍国少年・少女をつくってきた反省を基に、戦争を賛美するような事があってはならない。



三密を回避した全体協議の様子

- ピースくまもと設立準備事務局会協議計画(案)事務局提案 ※資料4
    - ①当初民営での「くまもと平和祈念館(仮)」設立
    - ②「熊本空襲資料室(仮)」設立の熊本市への要望
    - ③失われていく「戦時資料・遺族資料」の県博物館ネットワークセンターによる収集要望
    - ④県もしくは関係施設HPに「くまもと戦争遺産 デジタルミュージアム」開設を要望
- |        |                 |        |              |
|--------|-----------------|--------|--------------|
| 基本の三柱  | 設置場所は熊本市        | 運営・運用  | 活動方針         |
| 展示イメージ | 設立「趣意書・アピール文」作成 | 設立基本構想 | 設立「発起人」募集と依頼 |

#### (4) 事務局提案

- 大西熊本市長へ「8/10空襲資料発見報告」等と「熊本空襲資料室(仮)」設置要望
  - ①1945年8月10日新発見の空襲資料発見の報告 ※資料5  
くまもと戦跡ネット『空襲下の熊本』啓発リーフレットの贈呈
  - ②yahoo! japan「未来に残す 戦争の記憶」内  
「幾度も爆撃を生き延びて 熊本空襲」DVDの贈呈 ※資料6
- 蒲島熊本県知事へ「戦時資料・遺族資料収集」「デジタルミュージアム」要望書提出
- 事務局としては、活動組立を仕切り直し、空襲調査は従来までの様に行うものの、岡山空襲資料館事例の様に、市での「熊本市空襲資料室」設置方向へ提案を行いたい。2年間活動の中間点として、市資料館設置をまず実現させ、その後の民間資料館設置への活動としたい。
- 愛知県での民間「ピースあいち」と公設「愛知名古屋の戦争の資料館」の公設・私設が両立するイメージで設置する方向としたい。
- 事務局提案では、当初の3本柱が崩れる。3本柱を固持して、我々の熱意を示していく事が大事ではないか。魂のこもった施設を県民運動として進めるべきではないか。
- これまでの協議の流れからして、「熊本市内設置」を決定してほしい。次回には是非決定を行い、立地(地の利)を活かした候補場所としてほしい。
- 本日の協議の流れとして、事務局提案(熊本市への空襲資料館設置要望)は撤回する。8月初旬の県・市へは本会活動支援への「要請文」としたい。次回で文面を事務局で準備したい。
- 各部会に分かれての協議を次回に行い、特に設立趣意書については至急まとめた。
- 事務局で変更後の「年間スケジュール(案)」を再度提示する。

#### (5) 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会(仮)」設立

……本日協議なし  
「熊本に戦争と平和のミュージアム設立の基本構想(案)」3/4版

#### 4 連絡事項、その他

- 次回「第11回ピースくまもと設立準備事務局会」は「7月23日(祝)午後1:30～ ウェルパルクまもと 会議室」にて開催予定。

#### 5 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 上村真理子  
前回から4ヶ月ぶりの協議となり、今回は7名の新規参加がありました。3本柱を大切に、設立趣意書の至急の作成や私たちが創る施設に皆さん方の「熱い思いや魂」を入れていきましょう。



上村真理子副代表の挨拶



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生  
 自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
 個人携帯 090-1513-5528  
 Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>